

小幅な値動き

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

小幅ながら2営業日続落

先週末の日経平均は前日比▼30円(▼0.1%)の2万7899円と2営業日続落した。業種別では保険(前日比+1.7%)、医薬品(同+1.2%)、ガス(同+1.1%)が上昇率の上位、海運(▼2.6%)、サービス(同▼1.4%)、精密(同▼0.9%)が下位であった。個別銘柄では、スタンレー電気(前日比+6.4%)が大幅高となり、日本電波工業(同+5.4%)、サンケン電気(同+5.0%)などが買われた。エーザイ(前日比+4.0%)、協和キリン(同+3.1%)といった医薬品銘柄の一角も高い。一方でレーザーテック(前日比▼5.5%)が前日に続き大きく下げ、楽天グループ(同▼5.5%)、ソフトバンクグループ(同▼3.8%)といった銘柄が安い。

アプライドが買われるも引けにかけて上げ幅を縮小

現地18日の米国市場では、NYダウは前日比+199ドル(+0.5%)の3万3745ドルと3営業日ぶりの上昇、ナスダックは同+1ポイント(+0.0%)の1万1146ポイントとほぼ変わらずで終えた。個別銘柄では、22年8-10月期の売上高が市場予想を上回ったアプライドマテリアルズが一時は前日比で5%以上の上昇となったが、引けかけて上昇幅を縮小させて、終値は前日比+0.2%と小幅高で終えた。SOX指数は前日比+0.1%であった。NYダウ構成銘柄ではシスコ(前日比+2.5%)、メルク(同+1.8%)、ウォルマート(同+1.5%)、IBM(同+1.0%)などが買われた。WTI原油先物は前日比▼1.9%の80.08ドル、米10年債利回りは前日比+0.06%の3.82%で終えた。

今週の予定

現地18日のシカゴ日経平均先物は、大証比+85円の2万7965円で終了、今朝のドル円は1ドル140.30円程度(7時30分現在)で推移している。今週は、国内では主な予定はなく、海外では23日に10月の米耐久財受注額、11月の米製造業PMI(速報値)、10月の米新築住宅販売件数、11月の米消費者態度指数(確報値、ミシガン大学調べ)、FOMCの議事要旨(2月開催分)、24日が感謝祭の祝日で米全市場が休場、25日が感謝祭の翌日で米株、債券、商品は短縮取引、などが予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/11/18 現在

日経平均	2万7899円
プライム売買代金	2兆9864億円
プライム時価総額	706兆3879億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

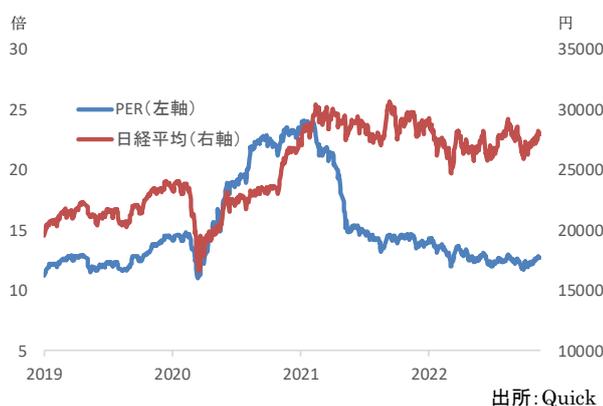
国内株式売買代金ランキング

2022/11/18 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼5.5%
2 ソフトバンクグループ	▼3.8%
3 東京エレクトロン	▼0.9%
4 マイクロ波化学	10.2%
5 任天堂	0.6%
6 三井住友FG	0.5%
7 ファーストリテイリング	▼0.1%
8 三菱UFJFG	▼0.6%
9 トヨタ	▼0.1%
10 日本郵船	▼2.4%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa